

## すべては神様のお恵み

### † 主の平和

温かい春の訪れを喜びのうちに、4月29日私はトマス・アクィナス前田万葉大司教様をはじめ広島教区の名誉司教（ヨセフ三末篤實司教様）、養成担当の神父様方のご指導、修道会の皆様、司祭団と多くの信者の方々に見守られて、岡山教会で助祭叙階の恵みを頂きました。感慨無量の喜びです。そして、当日に多くの皆様が叙階式に参列して下さったことを心より感謝いたします。12年間司祭職を目指し、5年間日本カトリック神学院で養成され、神様が色々な形で、絶えずにわたしの上にお恵みを注いでくださったことを、この度改めて感じております。

これまで、多くの方々のお祈りと励ましを頂いたからこそ、この日は「人生の春」の日となったと思います。このお恵みによって人生は変わっていくでしょう。それは自分の力ではなく神様の御恵です。すべては神様からの無償の賜物です。特に、深く感じたのは私の母と兄がベトナムから叙階式に参列するように岡山教会の皆様が助けて下さり、多くの信者の方々のお祈りと御支援を受けた事で本当に心から感謝申し上げます。

助祭叙階のお恵みを受けたわたくしは、これから本格的に奉仕職の使命を始めることになりましたが、それは、御言葉の奉仕、典礼の奉仕、愛の奉仕です。すなわち、福音の喜びをのべ伝える者となるのです。助祭に叙階されましたが、司祭団に加えていただくために、助祭職を果たしながら、これからも、しっかり準備を続けて行きたいと思います。今年の目標は「人の痛みが分かる司祭」になることを望みます。どうぞ、この目標を果たすことができるように皆様に祈って頂きたいと思います。

これから「出向いていく」私は助祭の務めとして奉仕に励みつつ、時には、困難な事に出会ったり、辛い事にも出会ったりするでしょう。どんな時にも堅固な決意をもって生涯を神様にお捧げし、信仰・希望・愛をもって、神のみ旨に従い、神の道具として成長していきたいと思います。ちなみに、わたくしは弱い人間ですが、神の助けによって、相応しい司祭になることを望んでいます。ですから、「わたしの恵みはあなたには十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮される」（二コリント12・9）という御言葉を確信しております。

最後に、召命のためにお祈り、犠牲をささげてくださいしているすべての恩人の方々を祝福し、それぞれの務めを喜びのうちに果たしていくことができるように導き、神様のお恵みが皆様の上に豊かにあるように祈って参りたいと思います。今後とも、ご支援とお祈りをどうぞよろしく願いいたします。

2016年6月10日

新助祭ペトロ ホアン・ドック・ロイ

### ▼主のお恵みに感謝      ロイ司祭誕生を願って！

ロイ助祭は今年度カトリック神学院で最終過程となる助祭コースを進まれます。夏休みには又お目にかかられると思います。この一年を私達も、ロイ助祭が司祭叙階に向けての充実した時を過ごされるように、信徒一同祈ってまいりましょう。出来れば来春の岡山教会での司祭叙階式が実現しますように。